

平成30年度 南中学校 学校評価報告書

重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生徒の基礎的基本的な学力を定着させるために、指導方法の工夫や個に応じた指導及び家庭学習の習慣付けなどを行う。 生徒が自らの考えを発表したり、相手の考えを聞いたりして、より主体的に学習に取り組めるように、「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた授業展開を研究していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着について、指導方法の工夫や放課後の学習指導などを行っている。引き続き様々な工夫して取り組んで行く必要がある。 研修会などを通して、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善の意識は職員間に浸透してきた。生徒の学力向上につながるよう、主体的に学習に取り組む授業づくりに努めたい。 	B
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習や道徳、行事を通して生徒一人ひとりが成長を感じられる指導や評価を大切にする。 行事等の活動を通して、人とかかわりをもつことで自分の存在を肯定的にとらえ、楽しさを感じ、自らの働きかけで人の役に立った、人に喜んでもらえるなど相手の存在によって得られる「自己有用感」もてる指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に教科学習・行事・部活動に取り組み、協力し合う中で、互いを認め合い充実感や達成感、自己有用感をもてるようになってきている。特に道徳では「自分事」としてとらえられるように話し合い活動を取り入れるように努めた。またファイルを活用し、学習の振り返りが有効に行えるようになった。 	B
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テストの調査結果を受け、持久力を向上させることを重視しながら、その他の必要がある体力や能力を意識しながら学習に取り組む。 日々の健康観察の充実を図り、生徒の実態、課題に応じた健康教育の充実と保健指導の推進に努める。 学校保健委員会の活動を推進し、食生活や生活習慣を中心とした健康教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上のために、保健体育の授業で走った後、心拍数も計測し、フィードバックしながら行うことで、意欲的に取り組めるようにした。 学校保健委員会のテーマ決定に際して、広く教職員に意見を求め、生徒の現状に即したテーマにすることができた。 保健委員が各種飲料の糖分含有量を調べて発表することで、生徒の健康に対する意識が高まった。 	A
児童生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめや不登校の早期発見に努めるために、年3回、事前アンケートを取った上で生徒の悩みを聞き、教育相談を実施する。また、日々のコミュニケーションを多くとれるように、休み時間には生徒の近くで寄り添えるように努める。 スクールカウンセラーなどとの連携を図るために、気になる生徒がいれば報告・相談を常にしていくことに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回のアンケート・教育相談の実施により、いじめや不登校の早期発見に努めることができた。生徒に寄り添う指導を意識し、きめ細やかな指導につなげることができた。 SCや外部機関との連携を専任を中心にしながら、多くの関係機関が生徒・保護者対応に関わることもできた。また、SSWIによる対応やケース会議なども行って、課題解決することができた。 	A
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭礼、「みなみ祭り」「桜まつり」等の区の行事への参加を積極的に促し地域や区と連携しながら取り組む。 地域防災拠点訓練に生徒会役員を中心とし部活動の生徒なども参加し、地域の方々と協力しながら地域防災と災害時の支援活動のお手伝いをする。 部活動や委員会活動などで取り組めるような地域連携について検討、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が地域の祭礼や区の行事に参加したり、笑顔のカードを送ったりして地域との連携が図れた。吹奏楽部や和太鼓部は地域の祭礼等で演奏し、茶道部は高齢者施設でお茶会を開き、園芸部は地域ボランティアとともに中学校の緑化に努めた。 環境委員会でも地域清掃を行い、地域の美化に努めた。また、地域防災拠点訓練では生徒が地域と一緒に協働する取り組みを行った。 	A
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人々との関わりを通して自己を見つめる。その中で自分の生き方を考える。 職業調べ、インタビュー、職場体験を通して地域とのつながりを深める。挨拶や敬語の使い方を学ぶ。 進路選択において、自分自身の適性を知り、さらに自己理解を深め、具体的な進路に結び付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を講師に迎え、職業講話、福祉講話を行った。 1年生の冬休みに職業調べ、2年生で職場体験、夏休みの高校説明会の参加を行い、段階的に自分を見つめる機会を持つことで、3年生になってからの自分の進路決定につなげることができている。 	A
いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの状況についての記録を蓄積、加筆できるようにし、担任や各学年教諭、生徒指導専任教諭が情報を共有してチームによる支援を進められるようにする。 「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事の場面で活用するための研究を進める。 毎月一度、いじめ防止対策委員会を開催し、いじめの未然防止や対応を定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒情報を蓄積していくことにより、学年だけでなく学校全体として生徒の様子を把握できるようになった。 いじめ予防策としてy-pアセスメントを利用し、クラスの特性や生徒個人の特徴を客観的に見て、根拠に基づいて対応することができた。いじめアンケートに対して教育相談の場を設け、早期対応につなげた。 	A
人材育成・組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校内授業研修やメンターチームなどの研修会を充実させる。キャリアアステージに応じた各種研修会を積極的に活用し指導力や資質の向上を目指す。 特に経験の浅い職員に対して校外の研修会への参加を促す。 職員組織の活性化や効率化や負担軽減を目指し、主幹教諭や各主任等のミドルリーダーの指導力を有効活用するため、主幹・学年主任会等でより良い学校運営に向けて検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内授業研修1回目は、5年次以下の教員が中心となり、授業力の向上に努めた。2回目は、「子どもたちのために」という基本的な考え方を大切に、全員で授業を見合せて、教員同士が学び合う機会を設けた。 メンター研修を行うことで、課題を共有することができた。また、校外への研修会にも積極的に参加をすることで指導力の向上にもつなげた。 主幹・学年主任会の開催により、ミドルリーダーの育成やスムーズな学校運営にもつなげることができた。 	A
ブロック内相互評価後の気付き	<p>・年2回実施しているブロック授業研修会では、教科にとどまらず、領域での情報交換も進めた。「9年間で育てる子ども像」を踏まえ、28年度から今年度までの3年間で、小学校・中学校で育成を目指してきた資質・能力がどのようなものだったのかを洗い出し、小中9年間でどのような力を伸ばしていきたいかを話し合った。</p> <p>・新教育課程の編成に向けて、ブロックのグランドデザインを作成するために、ブロック内でプロジェクトチームを立ち上げ、1月の研修会では、大切にしていきたい3つのキーワードを全職員で共有する時間を設けた。今後の教育課程全体で目指す資質・能力に落とし込み、これまで以上にブロック内で連続性をもった教育活動が行えると確信している。</p>		
学校関係者評価	<p>「確かな学力」「豊かな心」については大変重要な取組であり、いずれも評価結果はBとなつてはいるが、取組内容や評価結果からはやるべきことを思われる。今後も教師、生徒が向上していると実感でき、A評価となるように、さらなる努力を期待したい。また、生徒の自己有用感の高揚は重要な課題である。様々な機会をとらえて図ってほしい。地域における活動、ボランティアなどは中でも有効な機会であると思われる。地域に感謝し、地域から感謝される生徒の育成を期待したい。</p>		
学校経営中期取組目標振り返り	<p>中期学校経営方針の最終年度を迎え、そのまとめを意識するとともに、今後10年間を見据えた取組を始め、その課題や成果を教職員で共有した。また、ブロック内でも研修会を行い、来年度以降の中期学校経営取組目標、学校教育目標の見直しにつながるよう話し合いを行い、それを元にしてブロックグランドデザインを作成した。今後ブロック3校で大切にしたい「9年間で育てたい力(キーワード)」を念頭において指導計画を作成していきたい。さらに、学習指導においては、「主体的・対話的で深い学び」の考えを導入した授業展開が行われつつあるが、さらなる授業力向上のために、授業研究の時間が取れるよう行事・業務の改善を行っていきたい。</p>		